



2019年5月7日

各 位

会 社 名 アイフル株式会社
代 表 名 代表取締役社長 福田 吉孝
(コード番号: 8515 東証第1部)
問 合 せ 先 財 務 部 長 三 石 潤
T E L 03-4503-6050

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年11月12日に公表いたしました2019年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期の業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,300	百万円 15,500	百万円 16,100	百万円 15,000	円 銭 31.01
今回修正予想 (B)	115,300	3,000	4,100	9,300	19.23
増減額 (B - A)	0	▲12,500	▲12,000	▲5,700	—
増減率 (%)	0	▲80.6	▲74.5	▲38.0	—
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	115,389	2,492	2,823	3,958	8.18

(2) 単体

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 71,400	百万円 11,500	百万円 12,400	百万円 12,300	円 銭 25.43
今回修正予想 (B)	70,900	400	1,500	5,200	10.75
増減額 (B - A)	▲500	▲11,100	▲10,900	▲7,100	—
増減率 (%)	▲0.7	▲96.5	▲87.9	▲57.7	—
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	64,663	366	979	2,437	5.04

2. 修正の理由

【連結】

前回発表した予想に対する営業収益は、当社グループの主力事業であるローン事業を始めとした各事業が引き続き順調に推移していることを主な要因として、計画通りの1,153億円となる見込みです。

一方で、営業費用は、利息返還請求の減少が当初の想定よりも鈍化している状況を踏まえ132億円の利息返還にかかる引当金の追加繰入（うち利息返還損失引当金115億円、利息返還にかかる債権放棄引当金17億円）を行うことを主な要因として1,123億円となる見込みです。

この結果、営業利益は30億円（前回予想比125億円減）、経常利益は41億円（同120億円減）となる見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、93億円（同57億円減）となる見通しです。

その主な要因といたしましては、当社が保有する投資有価証券の株価下落に伴う減損処理を行い6億円の特別損失を計上する一方で、今後の業績の見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を追加計上し、▲56億円の法人税等調整額を計上する見込みであることによります。

【単体】

営業収益は概ね計画通りの709億円となる見通しですが、営業費用においては、120億円の利息返還にかかる引当金の追加繰入（うち利息返還損失引当金103億円、利息返還にかかる債権放棄引当金17億円）を行うことを主な要因として705億円となる見込みです。

この結果、営業利益は4億円（前回予想比111億円減）、経常利益は15億円（同109億円減）となる見通しです。

また、当期純利益は、連結同様、6億円の特別損失を計上する一方で、繰延税金資産を計上し、▲37億円の法人税等調整額を計上する見込みであることを主な要因として、52億円（同71億円減）となる見通しです。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、最終の業績は今後の精査結果等、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上